



一隅を照らそう
1月号

336号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



年頭にあたり

住職 中島 有淳

令和四年壬寅歳明けましておめでとうございます。新しい気持ちで新年を寿ぎたいと思います。

昨年は天台宗を開かれた伝教大師・最澄(七六六?〜八二二)の没後一二〇〇年という節目の年で、六月四日がご祥当日でした。天台宗では大遠忌記念として種々な行事や法要を計画しておりましたが、コロナ禍の為、中止や縮小を余儀なくされました。気持ちの整理に忸怩たる思いで過ごしたものです。

とはいえ、伝教大師のご精神を現代に受け継いでいく気持ちを、上手に確認し、紹介していかねばと思っております。更に、十一月二十二日には森川座主猥下(96)がご遷化されました。私も幾度となく警咳に接する機会に恵まれましただけに残念でありました。

比叡山全体を伝教大師のお衣と呼ばれ、"汚してはならぬ"と森を育てる仕事に従事され、後には延暦寺学園比叡山中学・高校の校長として、人を育てる事に情熱を注がれました。環境破壊の問題を解決するには、お互いの仏性を尊重し共生して生きる考え方を強調されました。

大切なご教示と受けとめております。このことは、これからの時代を生きる糧であり、大きな指針でありましょう。

明けて本年は、寅年であります。

仏教と虎は縁が深く、日本では仏教の守護神として知られ「毘沙門天」との関わりから古来より畏敬される動物です。當山でも平成二十三年に本堂右側に木彫にて新刻勧請し、奉安致しました。以後毎朝『仏説毘沙門天王功德経』を、参詣の方と一緒に唱えております。

何故當山に「毘沙門天」像をお祀りしたかと申しますと、毘沙門天は四天王の一人で多聞天とも呼ばれます。四天王は持国天(東)増長天(南)広目天(西)多聞天(北)で、多聞天がお釈迦さまの説法を一番良く聞いていた(多聞)といわれ、後に仏説の正しさを見守る役割として尊崇されるようになったからです。

日本仏教の大恩人である聖徳太子は、ある時奈良の信貴山で祈願していると、毘沙門天が出現。それは寅年の寅の日(三日)、寅の時刻(四時頃)で、毘沙門天は聖徳太子に、排仏派との戦いに勝つ秘法を授けたと言ひ伝えられます。このご利益により以降、信貴山は有名になるのです。

また『三寅』という言葉があります。トラが三つ揃うということ、寅年・寅月・寅日・寅の刻のうちいずれか三つを持って生まれた人のことを指し、福運に恵まれた人生を送るとされます。その代表が徳川家康で、トラトラトラでした。また上杉謙信も三寅で、仏教に深く帰依して、戦いの旗印は「毘」でした。

本年も仏教をより多く聞くことが出来る年で、それが正しいと導いて戴ける年でありたいと願っています。

かるた

明けましておめでとうございます
御正月に皆で集まって
かるたとり

いにしへの奈良の都の八重桜：
笑う門には 福来たる

時には辛いことや
悲しい事もありましょうが
少しでも 笑って過ごせる
一年になりますように

(遊)

折りふしのはな



行事案内

◎元日 令和四年壬寅歳(午前五時・午後二時)

開運初護摩供厳修

※本年も「開運たねせん」を授与します

◎一月八日 午後二時

初葉師如来大護摩供

※秘仏 葉師如来御開扉(元日〜八日まで)

◎一月十二日 午後二時

日本橋智泉院法要日(於・茅場町)

◎一月十八日 午後二時

初観音経読誦法要(於・観音堂)

◎二月二十八日 午後二時

初不動尊大護摩供

◎二月三日 午後二時

節分会

◎息災護摩札

◎厄除護摩札(志納金 一体五千元)

◎盗難除お札 ◎火防お札

◇自動車交通安全お守り(志納金 三千元)

(前以て番号をお知らせ下さい)

※マスク着用の上、静かにご参詣下さい

*毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております

ご都合のよい時には、一緒にどうぞ

Sustainable
Peace 2022

◎明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い申し上げます。院内一同

〇コロナの変異株が心配。でも感染対策をしつかりしていればそれ程恐れることはなさそう。医療施設等の現場は大変ですが、経済対策で政府は必死。格差が広がるばかりでは。世界が学んだ共生の社会を。

〇「寅の生れは性質果敢能く難苦に克つが負けず嫌いで勝気のため上長目下と争い幸運を取り逃がす。義侠心に富み金銭上の失費が多い。物事に無理せず堅実に進めば案外晩年は幸福である。

『天台こよみ』より

〇「親ガチャ」という語が流行っている。自販機の「ガチャガチャ」が語源で何が出てくるか分からないことから「親ガチャ」は親を選ぶことが出来ないという意味。「親ガチャにはずれた」と自虐的に使われるという。何ともやるせない。

〇暮れの寒波にはふるえました。雪国はさぞやとお見舞い申し上げます。これから寒さも本番とか。呉々も暖かくしてお大事にお過ごし下さい。

あとかき

<二月三日の節分会につきまして>
例年通り修法致します。御札のお申込みを受付致します。当日の追難式(豆まき)は実施の可否を検討中です。最新情報はSNSをご確認下さい。
※檀信徒の皆様には1月中旬に葉書にてご案内致します